

## 3-5 アンケート調査・事業者ヒアリング結果

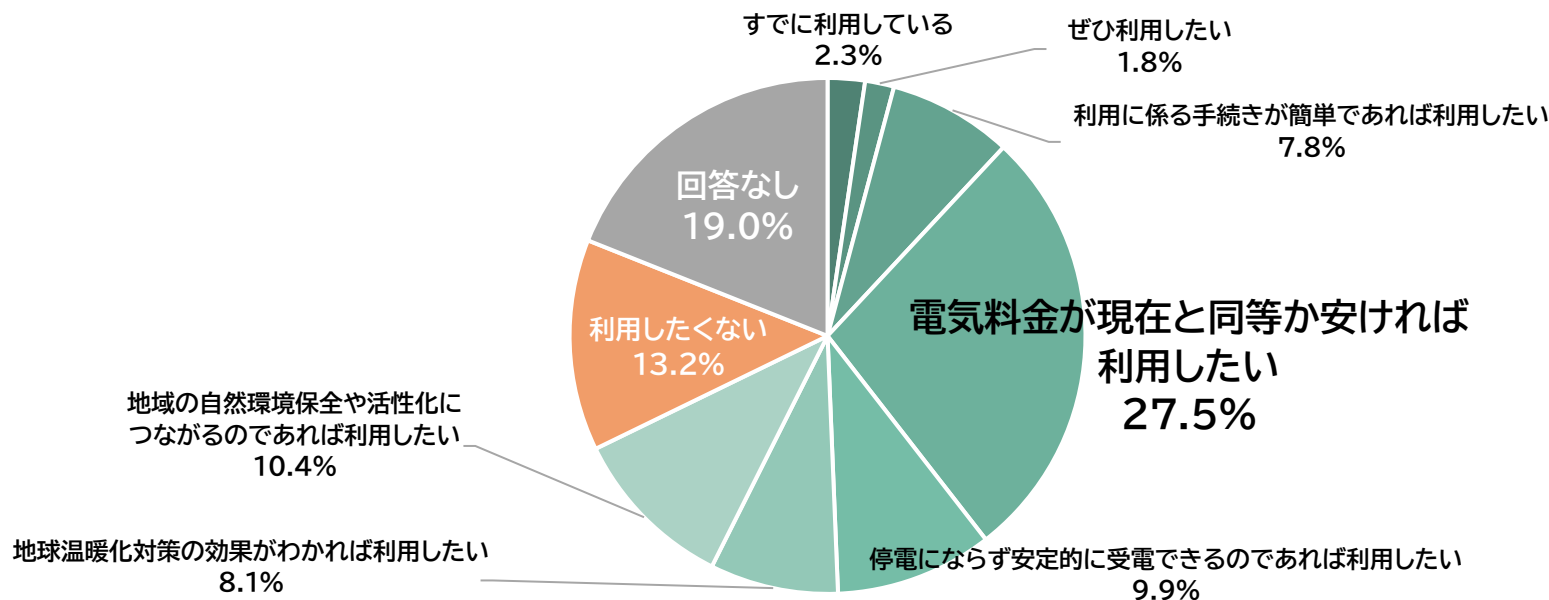
### (1) アンケート調査結果

市民及び市内高校生を対象として、令和7(2025)年度にアンケート調査を実施しました。各主体が重要視する項目や課題を整理することで、問題意識を把握し、市民と連携した地球温暖化対策を推進していきます。

#### 市民アンケート結果

#### 再エネ電気プランに対する関心

再エネ電気プランを「すでに利用している」と答えた回答者は2.3%、「ぜひ利用したい」、所定の要望を満たすという条件付きであれば「利用したい」と回答した合計は、65.5%でした。これらを合計すると、**67.8%の市民が再エネ電気プランに関心がある**ことが分かりました。

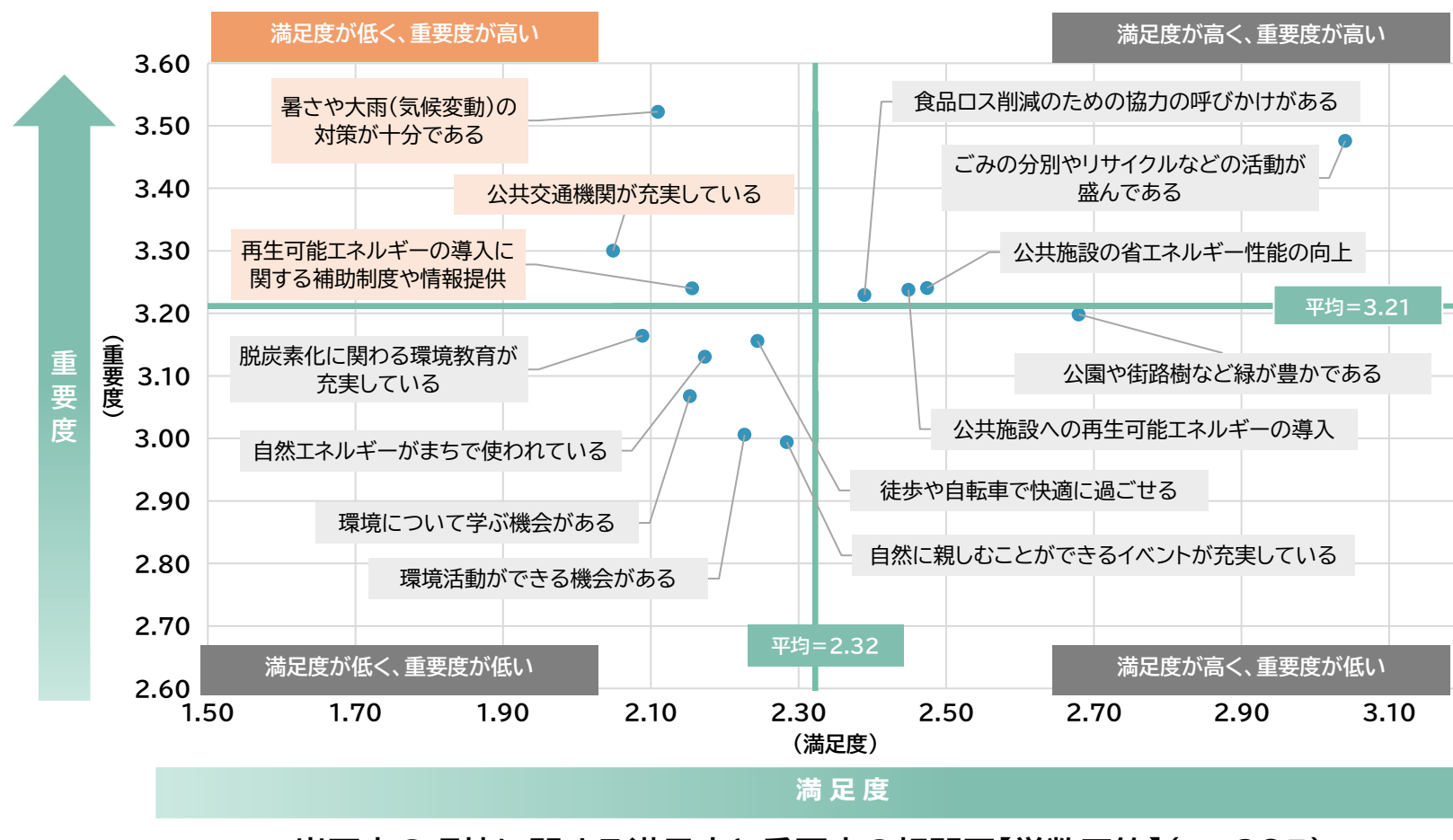


再エネ電気プランに対する関心【単数回答】(n=385)

## 満足度及び重要度

岩国市の環境に関する各項目について、満足度及び重要度を調査したところ、「暑さや大雨(気候変動)の対策」、「公共交通機関の充実」、「再生可能エネルギーの導入に関する補助制度や情報提供」の優先度が高い(満足度が低く、重要度が高い)ことが分かりました。

これらは市民が特に重視しているにもかかわらず、現状では十分な成果が得られていない分野であり、**防災・適応施策の強化、移動の利便性向上、再生可能エネルギー導入施策の強化を図る必要があります。**

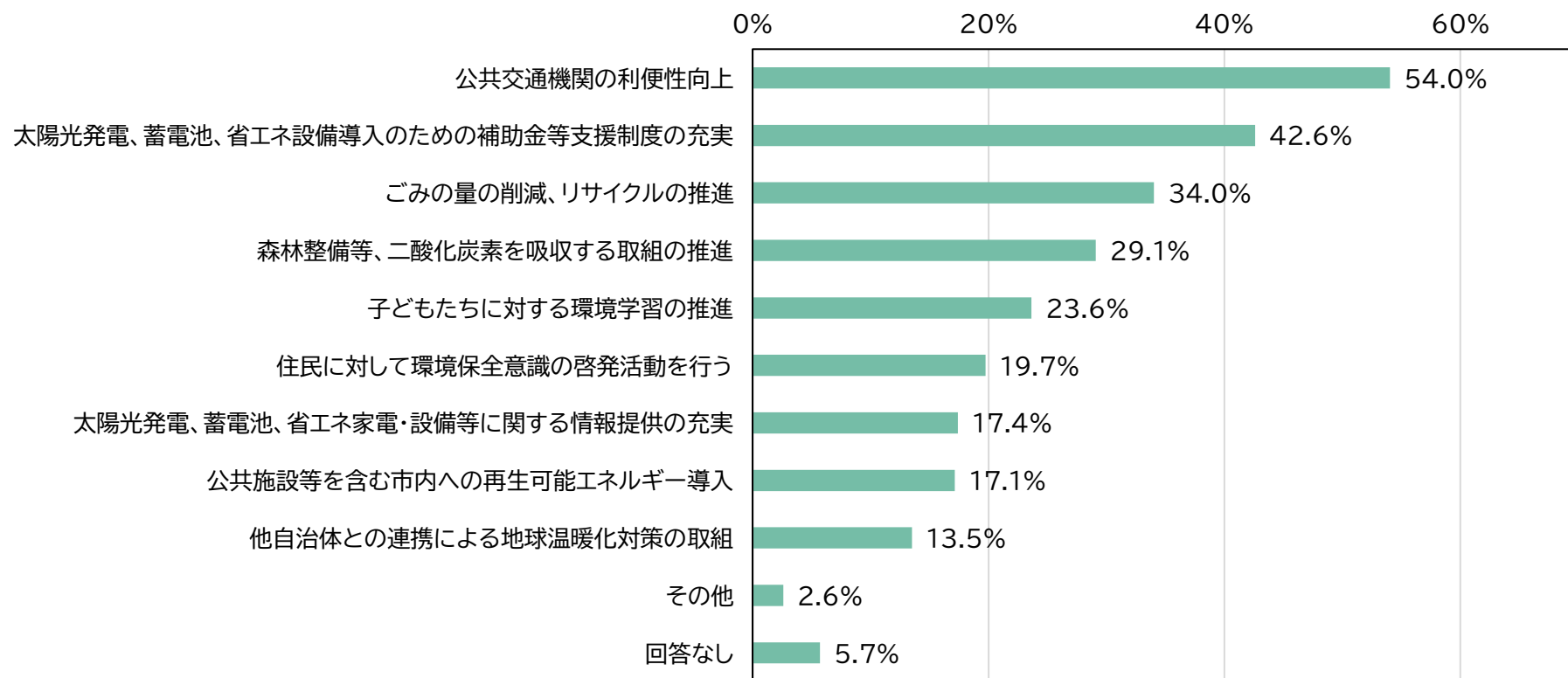


岩国市の環境に関する満足度と重要度の相関図【単数回答】(n=385)

## 市に行ってほしい地球温暖化対策

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するため、市に行ってほしい取組では、「公共交通機関の利便性向上」が最も多く、次いで「太陽光発電、蓄電池、省エネ設備導入のための補助金等支援制度の充実」、「ごみの量の削減、リサイクルの推進」の順に回答が多くなりました。

公共交通機関の利便性向上を通じた自家用車依存の低減や、生活に直結する分野における脱炭素施策を推進する必要があります。



市に行ってほしい地球温暖化対策【3つまで回答可】(n=385)

## 市の環境の理想像

岩国市の環境の理想像を一言で表してもらったところ、「自然な」、「安心」、「緑」がキーワードとして挙げられました。

これらの結果は、市民意識を反映した将来の環境像を検討するための基礎資料として位置づけ、今後の施策の方向性を検討する際に活用します。



※ワードクラウドにより、回答の頻出単語を抽出。単語の出現回数に応じた大きさで表示。  
ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

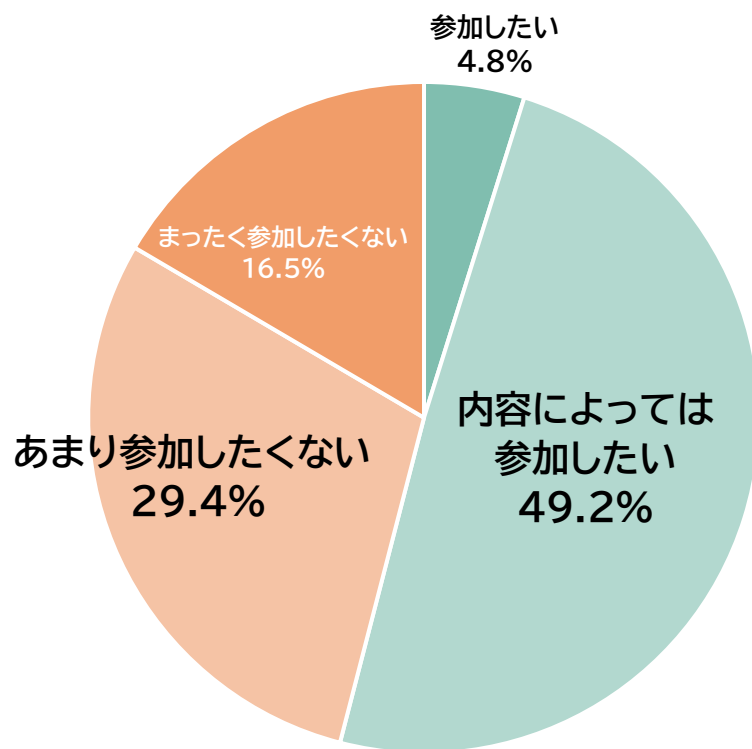
市の環境の理想像【自由記述】(n=385)

## 高校生アンケート結果

## 地球温暖化に関する授業やワークショップへの関心

市内の高校生を対象としたアンケートでは、地球温暖化に関する授業やワークショップに「参加したい」、「内容によっては参加したい」と答えた回答者は54.0%であり、一方、「あまり参加したくない」、「まったく参加したくない」と答えた回答者は、45.9%でした。

学生を対象とした、地球温暖化への関心を喚起する学びの機会の提供について検討する必要があります。

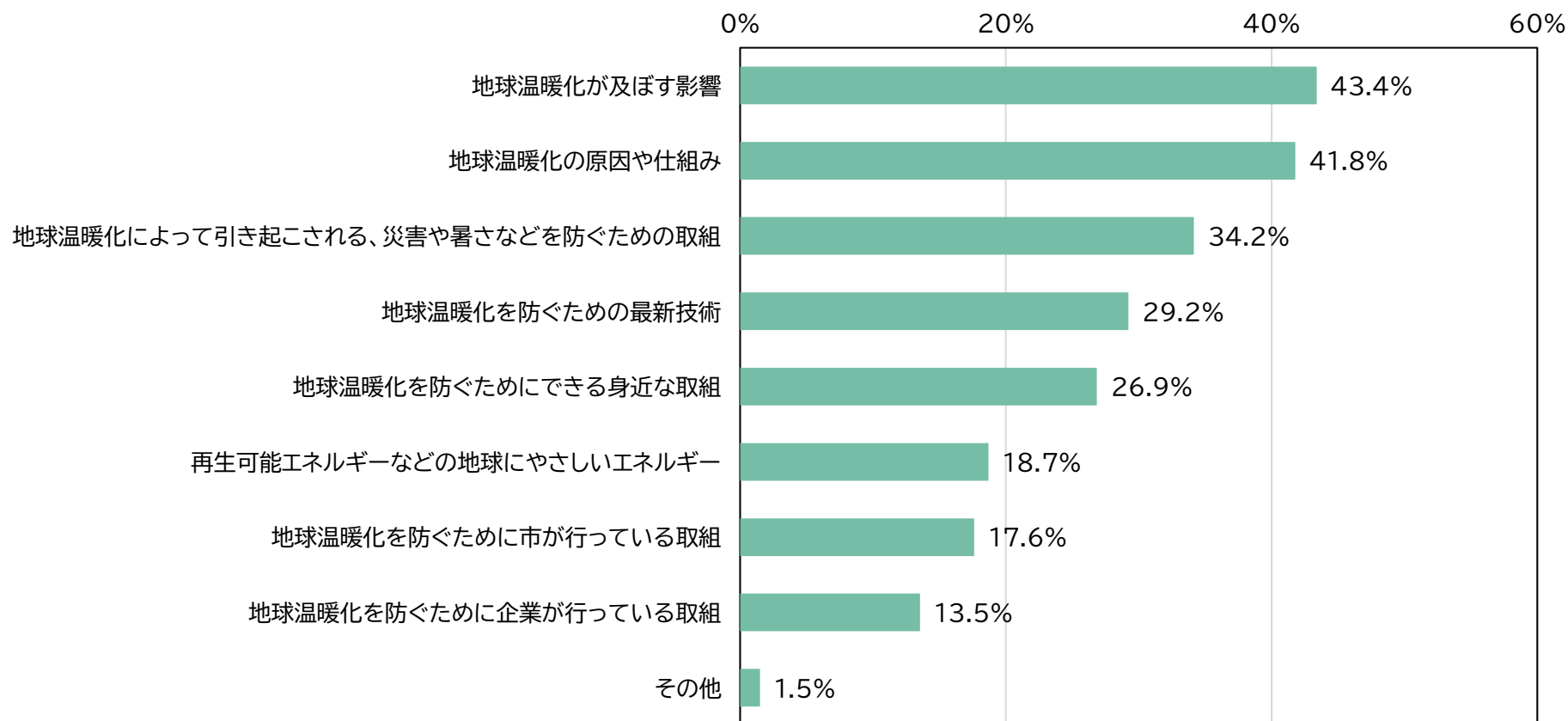


地球温暖化に関する授業やワークショップへの関心【単数回答】(n=931)

## 市内高校生が学びたい地球温暖化に関する情報

市内高校生が学びたい地球温暖化に関する情報では、「地球温暖化が及ぼす影響」が最も多く、次いで「地球温暖化の原因や仕組み」、「地球温暖化によって引き起こされる、災害や暑さなどを防ぐための取組」の回答が多くなりました。

高校生に対する環境教育においては、基礎知識の理解に加え、気候変動が地域や日常生活に及ぼす影響、さらには緩和策・適応策の具体的な取組を関連付けて伝えることが重要です。

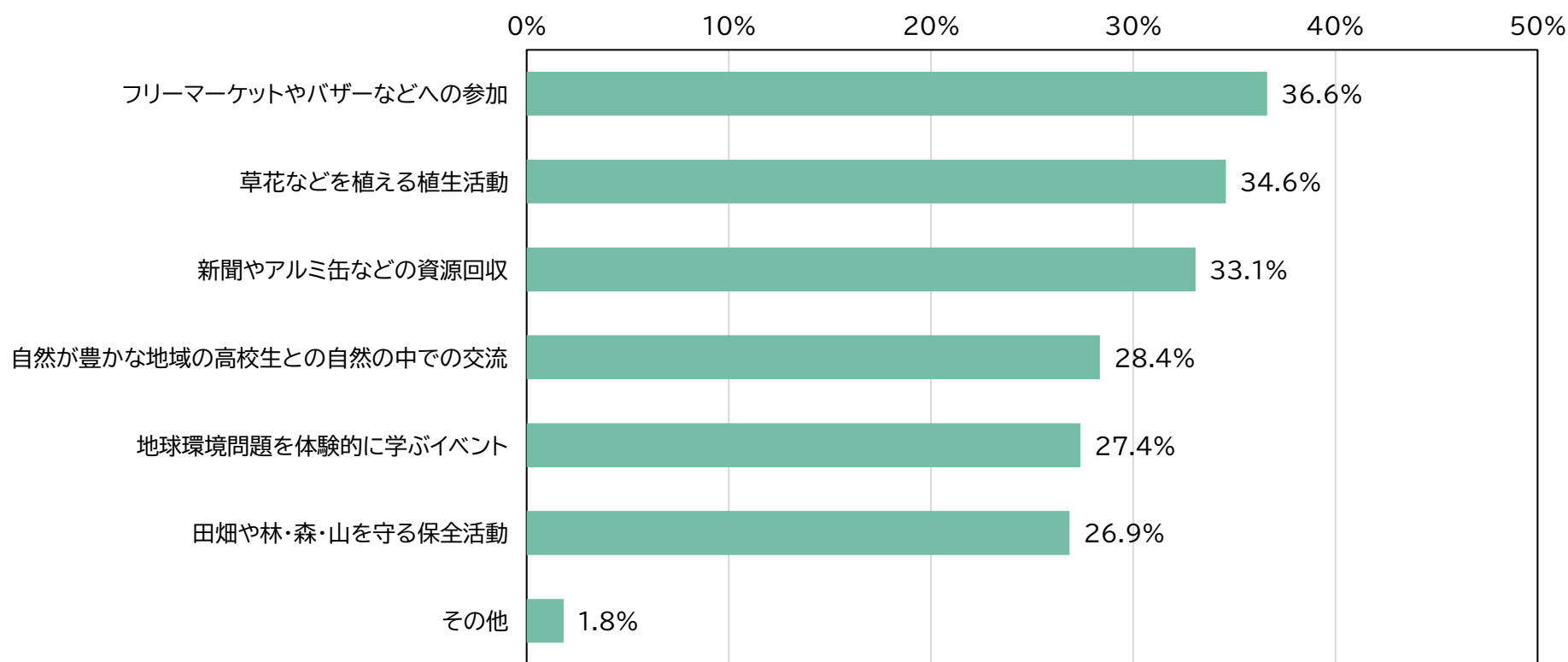


市内高校生が学びたい地球温暖化に関する情報【3つまで回答可】（n=931）

## 参加したい環境保護活動

市内高校生が参加してみたいと思う環境を守る活動については、「フリーマーケットやバザーなどへの参加」が最も多く、次いで「草花などを植える植生活動」、「新聞やアルミ缶などの資源回収」の順に回答が多くなりました。

身近で体験的な環境保全活動に高い関心を示しており、環境への配慮が目に見える形で実感できる取組が参加意欲の向上につながると考えられます。こうした傾向を踏まえ、高校生が気軽に参加できる体験型の環境保全活動の機会を創出していくことが重要です。

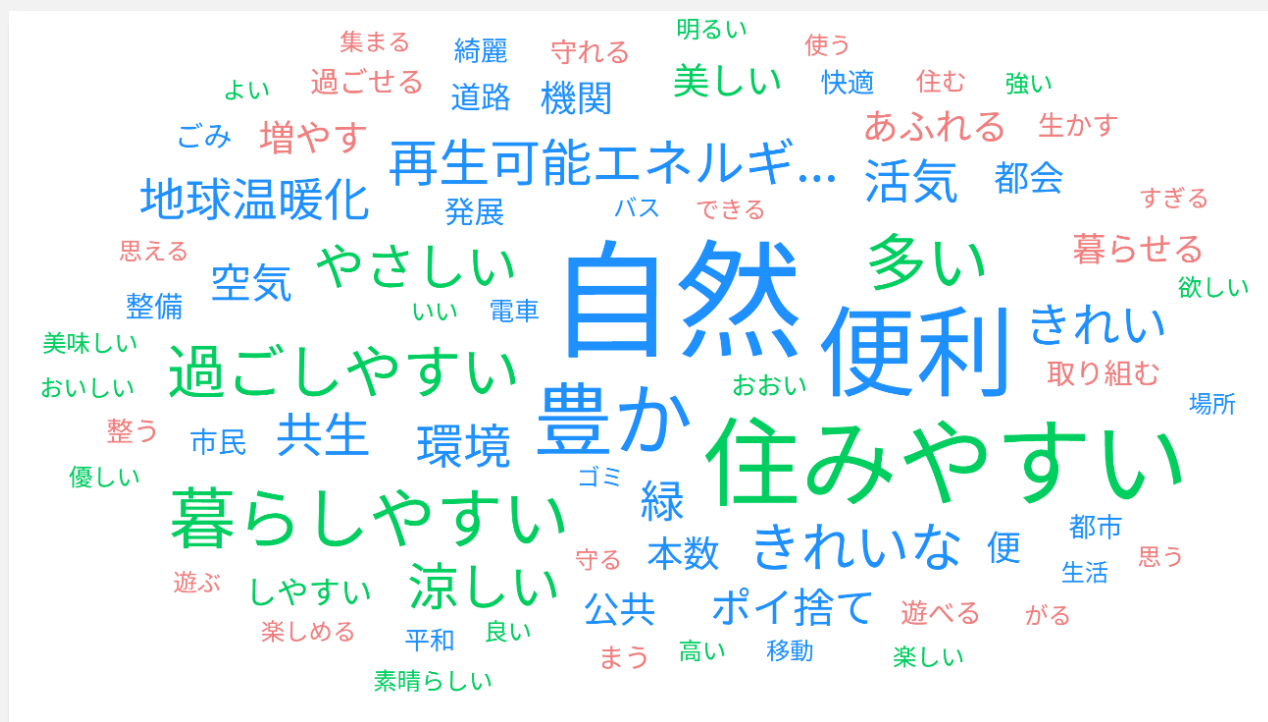


市内高校生が参加してみたいと思う環境を守る活動【3つまで回答可】（n=931）

## 市内高校生の市の環境の理想像

岩国市の環境の理想像を市内高校生に一言で表してもらったところ、「自然」、「便利」、「住みやすい」がキーワードとして挙げられました。

これらの結果は、市民意識を反映した将来の環境像を検討するための基礎資料として位置づけ、今後の施策の方向性を検討する際に活用します。



※ワードクラウドにより、回答の頻出単語を抽出。単語の出現回数に応じた大きさで表示。  
ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析( <https://textmining.userlocal.jp/> )

市の環境の理想像【自由記述】(n=931)



## (2)事業者ヒアリング結果

温室効果ガス排出量の多い事業者を中心とした市内事業者9者を対象に、令和7(2025)年度にヒアリング調査を実施しました。事業者のエネルギー使用量や脱炭素に向けた取組状況、市に期待する政策等についてヒアリングを行った結果を以下のとおりまとめました。

これらの結果は、今後の施策の方向性を検討する際に活用します。

現状
<p>脱炭素に向けた取組状況として、再生可能エネルギーでは太陽光発電やバイオマスボイラの導入事例が確認されました。太陽光発電は自家消費型として自費で導入している事業者が多いものの、オンサイトPPA※方式を活用した導入事例も確認されました。</p> <p>また、省エネルギー対策については、LED照明への更新が多くの事業者で進められており、その他、電力使用量の削減を目的とした設備導入が行われている状況が確認されました。</p>
課題
<p>多くの事業者において、地球温暖化対策を進める上で、<b>初期投資を含むコスト面</b>が大きな課題となっていました。</p> <p>また、「エネルギー削減の余地が少なくなっており、削減に資する取組の検討に苦慮している」、「費用対効果が小さい取組にも着手する必要がある」など、脱炭素に向けた取組を先進的に進めている事業者ならではの課題も確認されました。</p>
市に期待する政策
<p>前述のコスト面の課題を踏まえ、脱炭素に係る設備の導入に対する「補助金制度の創出・拡充」の要望が多く挙がりました。あわせて補助金制度に関する「要件の緩和」や「申請手続きの簡素化」を求める意見も挙がりました。</p> <p>その他、「カーボンフリーの燃料を使用できるようなインフラの整備」や「社会貢献の取組を含めた企業評価の仕組みづくり」などについても要望が挙げられました。</p> <p>これらの事業者ニーズを踏まえ、事業者の脱炭素化を促進する観点から、<b>支援施策及び制度の円滑な活用につながる環境整備</b>について検討する必要があります。</p>

※オンサイトPPA:発電事業者が需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組みです。

## コラム



## 新常識！？ペロブスカイト太陽電池とは

太陽電池というと、黒い大型のパネルが土地や屋根等に設置されている光景が思い浮かぶと思いますが、これらの多くは、「シリコン系太陽電池」と呼ばれるもので、発電層がシリコンでできており、現在最も普及している太陽電池です。これらは重量があり、設置場所が限られているため、普及に課題がありました。

一方、「ペロブスカイト」は、薄くて軽く、柔軟であるため、これまでの技術では設置が難しかった場所にも導入ができるものとして期待が高まっています。

## (参考) ペロブスカイト太陽電池の種類

## フィルム型



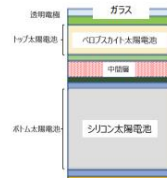
(出典) 積水化学工業 (株)

## ガラス型



(出典) パナソニックHD(株)

## タンデム型 (ガラス)



(出典) (株) カネカ

- 軽量で柔軟という特徴を有し、建物壁面など、これまで設置が困難であった場所にも導入が可能で、**新たな導入ポテンシャルの可能性大**。
- 海外勢に、大型化・耐久性といった**製品化のカギとなる技術で、大きくリード**。
- △ 発電コストの低下に向けては、引き続き、**耐久性の向上に係る技術開発**が必要。

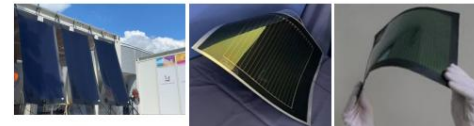
- 建物建材の一部として、既存の高層ビルや住宅の窓ガラスの代替設置が期待され、一定の**新たな導入ポテンシャルの可能性**に期待。
- △ 海外勢でも技術開発が盛んに行われており、**競争が激化**してきている状況にある。
- フィルム型と比べ、**耐久性が高く、耐久性を確保しやすい**。

- 現在一般的に普及しているシリコン太陽電池の置換えが期待されており、引き続き研究開発段階。**世界的に巨大な市場**が見込まれる。
- △ 海外勢でも技術開発が盛んに行われており、**競争が激化**してきている状況にある。
- △ 開発の進捗状況は、フィルム型やガラス型に劣り、**引き続き研究開発段階**。
- × **シリコンは海外に依存**。

## (参考) 国内企業における開発動向

- ペロブスカイト太陽電池は、国内において開発が進められ、**一部の企業では2025年度から事業化が開始**される予定。
- 特にフィルム型では、**耐久性や大型化の面で技術的に世界をリード**。ガラス型・タンデム型についても開発が進められている。

## ペロブスカイト太陽電池 イメージ



出典：積水化学工業 (株)

出典：(株) エネコテクノロジーズ

出典：(株) 東芝

## 想定される用途



建物屋根 出典：(株) エネコテクノロジーズ

建物壁面 出典：積水化学工業 (株)



出典：(株) カネカ

出典：パナソニックHD (株)

出典：(株) アイシン



建材一体型 出典：パナソニックHD (株)

IoT機器 出典：(株) エネコテクノロジーズ

出典：経済産業省「次世代型太陽電池戦略」